



当識と素材を取り戻すための

## 自主ゼミ 2019 vol.4

\*「見当識」⇒ 時間や場所など今自分がおかれている現実をきちんと把握すること。(広辞苑)

「弱いい派」と考える

〈弱さ〉の意味 ④!

ゲスト 徳永 京子

(演劇ジャーナリスト)

**私たちは現在**どこにいるのでしょうか? どこから来て、どこへ行こうとしているのでしょうか? 様々な言葉が飛び交い、何が真実で何が虚偽なのかわからなくなっている現代、私たちは誰もが自分自身を見失っているのではないのでしょうか。2019年度春の自主ゼミは、**演劇ジャーナリストの徳永京子さん**が「弱いい派」と名付けた演劇に焦点を当て、毎回「弱いい派」からゲストをお招きし、桃山商事の清田代表と雑談しながら、現代における「弱さ」の意味を考え、新たな人間関係を構築するための視座を探ることで、見当識を取り戻せればと、おしゃべりを続けてきました。4月は「贅沢貧乏」の山田由梨さん、5月は「ゆうめい」の池田亮さん、6月は「いいへんじ」の中島梓織さんをゲストに迎え、緩やかながらも濃ゆい時間の自主ゼミを持つことができました。そして7月のゲストは、徳永京子さん! 2019年度春学期の自主ゼミを振り返りつつ、同時代演劇に見られる弱さ、vulnerabilityから、その向こうに見える「強さ」の正体を垣間見、2019参院選後の日本の社会を考えたりできたらと思います。「弱さ」をキーワードに、迷走のおしゃべりを楽しみましょう。



**7月23日(火) 19:00 - 21:00 くらい**

**早稲田大学戸山キャンパス 33-438 教室 (4F)**

どなたでも! 聴講自由! 途中参加あり!